

学校法人 三幸学園

横浜スイーツ&カフェ専門学校

学校自己評価報告書

(平成28年度)

平成28年度 学校法人 三幸学園 横浜スイーツ&カフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 今村温子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 野崎睦

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スイーツ・カフェ分野の学校として「食を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スイーツ・カフェ分野として「食を通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

教育理念：「技能と心の調和」

人材育成方針：素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで社会に貢献する人材を育成する。また、美味しくてかわいいスイーツ・カフェを通じて時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する。「全てはお客様の笑顔とありがとうの為に」

教育目標：基礎力を高めレシピを自ら創りだせる力を身につける。素直で明るく自ら考えて動ける力を身につける。コミュニケーション能力が高く、お客様の喜びを自分の喜びとして考えられる人間性を育てる。食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材を共育。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となる為に下記10点を教職員一丸となって生徒指導して、強化していく。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 大きな声で挨拶・返事をする | 2. 自己管理を大切にする |
| 3. 常に衛生管理に努め | 4. 人、物に関心を持つ |
| 5. 謙虚に聞く姿勢を持つ | 6. 何事もまず行動する |
| 7. 自らの考えを持つ | 8. 協調性を持つ |
| 9. ハートフルな人間を目指す | 10. 技術向上に努める |

・アクティブラーニング導入の授業(受動的な授業形態から生徒が能動的な学習ができるような授業展開)

・産学連携・地域連携の強化

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

業界の動向や求める人材像を把握し、教育目標や育成人材方針の精度を高めていく。

② 今後の改善方策

就職先やインターンシップ実習先との連携を高めていく取り組みを深め、業界動向を正確に把握し、本校が目指す方向性と業界が求める人材像とのブレをなくす。

② 特記事項

食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となるために具体的に示した10ヶ条に関して、生徒自身の自己点検を実施、また教職員に関しても全体会議で周知徹底し日々の各授業の中でも生徒への働きかけをしており、全校挙げての意識統一を図っている。

1. 技術向上に励む
2. 掃除徹底・衛生管理
3. 時間を守る
4. 元気に挨拶・返事をする
5. 「何のために」を考える
6. ポジティブな考えを持つ
7. 本気で行動する
8. チームワークを大切にする
9. 1日1回のありがとう
10. 何事も素直が一番

③ 学校関係者評価委員会コメント

- ・礼儀正しく聴く姿勢が良い。吸収力が高い印象。基本的な挨拶ができ、自己主張ができる生徒が多い。一方で、決断力の弱さ・自分で決めたことに責任を持つ覚悟ができていない傾向があるので、その部分が在学中強化できると良い。
- ・学校への帰属意識があり、バックグラウンドとして確立している気がする。
- ・現場でもお客様からのニーズや、want を常に探している。
- ・企業側としても、学校で何を学び入社しているのかを店長や管理職に伝えたいと感じた
- ・教育理念、10ヶ条は、様々な教員との関わりや日々学校生活を送る上でだんだんと理解することができた
- ・在学中指導されてきたことは、現場で必要なことだと実感している

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・業務の効率化を図る
- ・衛生教育の徹底

② 今後の改善方策

- ・業務フローを再点検し、自動化できる業務に関しては情報化することで業務の効率化を図る。
- ・業務改善を積極的に行い、無駄をなくす。
- ・飲食業を目指す学校として、地域のお客様に対する食の安心・安全を徹底。

③ 特記事項

- ・学校の運営方法等については、年3回全教職員を集める会議にて浸透を図ると共に、積極的に情報提供を行っている。
- ・授業に関することは教科会、生徒に関することはクラス会議、日常の学校運営は担任会等様々な会議を通し、情報共有と意思疎通を図っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・現場でも課題の一つではあるが、労務管理には力を入れており、整えている。システム化・効率化・IT化することで、手間を省き管理をしやすくしている。SNS、アプリ等のシステムを利用している企業が多い。
- ・システム化しすぎて見えなくなっている部分も事実あるので、メンター制度やエリア制度、又は研修制度を多く揃えることで、face to face の場を用意している。
- ・一方で、対生徒に対しては効率化しすぎず、心を育ててほしい。
- ・現場でもサービスに力を入れている一方で、衛生に関しても敏感視している。第三者の力を借りて外部検査、抜き打ち検査等を実施している。また、ヒヤリハットの事例を書き出し見える化等もしている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・教員の質や授業力の向上に向けた効果的な研修
- ・教育活動の質の向上(企業側からの意見を積極的に教育活動において活かしていく)

② 今後の改善方策

- ・より積極的に企業様に特別授業や教員研修を実施頂き、その評価をしっかりとその後の教育に活かす。
- ・より多くの企業様とコラボレーションをし、実践的な職業教育プログラムを策定していく。

③ 特記事項

- ・企業様からの派遣講師が授業を継続的に実施頂き、成績評価もつけて頂いている。
- ・実習教員の技術力向上研修を夏休み期間に実施する。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・プロント様とのコラボレーションはとても勉強になった。無いものを形にする難しさ、チームで仕上げる難しさ、外部の方へのプレゼン経験は貴重なものでもあった。
- ・インターンシップ実習の時期を早めるか、数か所行けると、将来の選択肢につながるのではないかと。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・退学率低減
- ・就職後の離職率低減に向けた教育プログラムと就職先斡旋

② 今後の改善方策

- ・迅速な学生フォローや情報共有
- ・教務力向上に向けた効果的な研修
- ・継続的な離職率調査
- ・卒業生講話を継続的に実施

③ 特記事項

- ・学年での合同HRを定期的実施し、学年学校全体でのフォロー体制
- ・色彩検定3級合格率 84.1%(全国平均 65.0%)
- ・サービス接遇検定3級合格率 92.7%(全国平均 88.9%)
- ・商業ラッピング検定3級合格率 95.0%(全国平均 76.0%)
- ・就職率 100%(希望者)
- ・平成28年度退学率 7.9%(平成27年度 2.5%)

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・在学中つらいと思ったことはあるが、同じ夢を持った仲間や相談によって見てくれる先生方がいたからこそ辞めたいと思ったことはない。
- ・退学しなかった残りの多くの生徒には、理念や想いが伝わっているということにも考えられる。
- ・一人一人やりがいを感じさせ、評価をしてあげることが大切。
- ・企業も学校も入口(説明会)の時点でギャップをなくせることが大切。
- ・多くの人と関わりを持たせ、「裏切られない人」の数を増やすことも大切だと感じる。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・卒業後支援の強化
- ・保護者や高校とのさらなる連携

② 今後の改善方策

- ・卒業生:継続的且つ密接な教員との情報共有システムの構築。同窓会制度の充実。
独立支援制度の構築。
- ・保護者:より積極的な行事への参加依頼。何かあればすぐに相互連絡する体制の強化。
- ・高校:積極的にこちらからもキャリア教育に関する連携を検討する。

③ 特記事項

- ・経済的支援として、特待生制度、学費分割制度
- ・卒業生へのフォローを目的としたホームページ“Sanko Link”や同窓会プロジェクトの運営

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・保護者からは、この学校に通わせて良かったとの声をもらった。
- ・様々な立場、大人から伝えるだけでも、効果が違うように感じる。
- ・企業側からの声掛け、高校側からの声掛け、互いに連携していきたい。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

・さらに質の高い教育環境、体制を整備する

② 今後の改善方策

・社会のニーズを含めつつ、それに対応できる最大限の教育環境を整備する

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・環境、設備面での在学中の不満はなかった。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・本校の教育理念を十分に理解して、志ある新入生を確保する。

② 今後の改善方策

・募集活動を通して、本校の教育理念や特色をわかりやすく伝える。
・ニーズに合った情報の提供ができるように取り組む。

③ 特記事項

・一般社団法人 神奈川県専修学校各種学校協会が定めた募集時期や内容に関して遵守している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・高校側としては、大切な情報は文字に起こしてもらえると、後から見て確かめる事が出来るので有り難い。
・オープンキャンパスに行った高校生が基本的なことをわかっていなかった例があり、高校教員から説明したこともあるため、基本部分も確認してもらえると助かる。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・これからも法令に準じた財務管理を行って頂きたい。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- ・更なる法令遵守の推進

② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物などを通じて、全ての教職員に対して法令遵守をさらに徹底させる。

③ 特記事項

- ・平成 26 年度自己評価結果より公開

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・引き続き徹底を図って頂きたい。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

- ・ボランティア活動を含む社会貢献の更なる推進

② 今後の改善方策

- ・社会、地域貢献活動への更なる積極的な取り組み

③ 特記事項

- ・学内店舗実習の積極的展開(1階店舗実習室にて)
- ・地域貢献活動(横浜開港祭、ハロウィンイベント、地域老人ホームイベント等)

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・在学中、多くのイベントを通して役割をもらい、責任感を全うすることを学んだ。
- ・地域貢献活動を通して集団の大切さ、人との関わりの大切さ等、身につける事が出来た。
- ・今後もぜひ、積極的に社会、地域貢献を行ってほしい。

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・積極的な留学生募集を行っているとは言い難い

② 今後の改善方策

・今後より多くの留学生が入学した場合を想定して、適切な指導体制作り

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・卒業生としていろいろと話せる機会を頂けて良かったし、企業の方のお話を聞けたことも貴重だった。
- ・企業としても、卒業生のお話を聞く機会はとても良かった。御校の教育が本当に良いものだと感じた。
- ・専門学校体制や教育内容及び実社会の話を知るこのような機会は、今後進路指導をするうえで非常に有益な時間であった。
- ・今後も高校、専門学校、企業が連携を取って、様々な意見交換もしながら取り組んでいきたい。